

哥川 三国湊の遊女から、北陸を代表する俳人となった。

かせん

徳川吉宗將軍1716 = この頃、大和国吉野で、生まれたらしい。

..... 1725 = 9歳 :

幼くして、越前国坂井郡滝谷出村の遊女屋荒町屋七左衛門に抱えられ、源氏名泊瀬川と名乗る。

享保大飢饉・1732 = 16歳 :

..... 1734 = 18歳 :

礼儀作法・気品・諸芸に通じるなどで、"三国小女郎"といわれた格式高い三国遊女のなかでも目立ち、やがて、その名が全国に知られて行く。とくに、俳諧は、美濃派の代表的俳人で巴浪と号した永正寺の住職杉原永言について熱心に学び、その利発ぶりを発揮、

..... 1738 = 22歳 : この頃、客に誘われ、楼主の許しを得て江戸に下り、江戸の俳人達と交流を持つ。100日余りの滞在で、俳諧・茶の湯・琴・香・花などでもてなしている。

..... 1741 = 25歳 : 自由の身となったが、生活のため、豊田屋という遊女屋を経営、

..... 1743 = 27歳 : この年、芭蕉五十回忌を契機に、蕉風復帰運動が起こる。

徳川吉宗隠居1745 = 29歳 :

..... 1749 = 33歳 : *豊田屋を譲り、剃髪して尼となり、滝谷寺境内に草庵を結ぶ。この頃から五筑坊や巴浪父子と俳交。

徳川吉宗没・1751 = 35歳 :

..... 1752 = 36歳 : *この年出版された句集に入集。

蕉風の俳人らと往来、とくに加賀千代と親交し、切磋琢磨、北陸俳壇の二大闘秀と謳われ、

大岡忠光没・1760 = 44歳 :

..... 1761 = 45歳 :

..... 1770 = 54歳 :

田沼意次老中1772 = 56歳 :

解体新書・1774 = 58歳 : 金沢に加賀千代を訪ね、

黄表紙始・1775 = 59歳 : この年、*加賀千代が死去すると、

雨月物語刊・1776 = 60歳 : *後を追うように、没した。